

会社概要

(2019年6月30日現在)

- **社名** 株式会社C&Gシステムズ (C&G SYSTEMS INC.)
- **設立** 2007年7月2日
- **資本金** 5億円
- **従業員数** 251名(連結)
- **本社所在地** (東京) 〒140-0002 東京都品川区東品川二丁目2番24号 天王洲セントラルタワー19F
(北九州) 〒806-0067 福岡県北九州市八幡西区引野一丁目5番15号
- **電話番号** 03-6864-0777 (代表)
- **事業内容** 金型製造用CAD/CAMシステム、生産管理システム等の開発、販売、サポート
- **主な拠点(国内)** 東京支店、大宮支店、名古屋支店、大阪支店、九州支店
(テクニカルセンター) インドネシアテクニカルセンター
(海外子会社) CGS ASIA CO., LTD. (タイ)
CGS NORTH AMERICA INC. (CANADA) (カナダ)
Tritech International, LLC (アメリカ)
(海外代理店) IGPNET社 (韓国)
Shanghai C.J System Technology社 (中国)
Createwell社 (台湾)

株主メモ

- **事業年度** 毎年1月1日から12月31日まで
- **定時株主総会** 毎年3月開催
- **基準日** 定時株主総会 毎年12月31日
期末配当金 毎年12月31日
中間配当金 毎年6月30日
そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
- **株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関** 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
- **同事務取扱場所** 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) ☎ 0120-782-031
- **公告方法** 電子公告 (<http://www.cgsys.co.jp/>)
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
- **単元株式数** 100株
- **上場証券取引所** 東京証券取引所 市場第二部

C&Gシステムズ IRサイトのご紹介

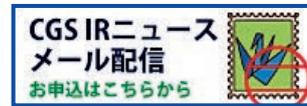
当社への理解をより深めていただくため最新IR情報を掲載したIRサイトをご活用下さい。

個人投資家の皆さまへ

当社の事業内容、強み、業績等、当社の情報をまとめ、分かりやすくご紹介しております。

IRメールニュース配信

IR関連情報を掲載した「CGS IR MAIL NEWS」を配信しております。メールアドレスご登録はCGSのIRサイトから！



<http://www.cgsys.co.jp/jp/ir/>



決算説明会動画

株主の皆さまに広く当社の決算概要をご理解いただくため、社長の塩田による決算説明会動画を掲載しております。



会社紹介ムービー

当社で働く社員の様子、ユーザー様のインタビューを交えた、当社の会社紹介ムービーをご覧いただくことができます。



CREATIVE & GLOBAL & SOLUTION

世界を築く、創造のソリューション。

株式会社C&Gシステムズ

証券コード：6633

13th Interim Business Report

第13期第2四半期 株主通信
2019年1月1日～2019年6月30日

株主の皆さまには、いつも変わらぬご支援を賜り誠にありがとうございます。2019年12月期第2四半期の営業概況について、ご報告申し上げます。

2019年12月期第2四半期の業績は？

売上高+13.2%、営業利益+155.0%の増収増益で推移

当第2四半期連結累計期間の当社グループの連結業績は売上高が21億39百万円、営業利益が1億60百万円の増収増益となりました。主な理由としては、金型製造事業の業績が好調に推移したほか、CAD/CAMシステム等事業での開発コスト減少が利益に貢献しました。

(1) CAD/CAMシステム等事業

国内では、保守売上は上期を通して堅調に推移したものの、製品販売については中国・韓国で貿易摩擦の影響を受けたほか、国内の金型メーカーにおいても設備投資意欲に慎重さが見られ、政府補助金採択のタイミングとも相俟って低調に推移しました。また海外では貿易摩擦の影響から経済が減速傾向にある中国および市況悪化が深刻な韓国では厳しい状況で推移、生産財メーカーとの連携が奏功したインドネシアおよび自動車関連設備需要が継続したタイ等の地域では堅調に推移しましたが、中国・韓国での不振をカバーするに至りませんでした。

一方売上原価に掛かる開発コストの減少等が、利益を押し上げる要因となりました。

(2) 金型製造事業

米国自動車業界は貿易摩擦による影響が懸念されるなど、一部不透明な状況が継続しているものの、金型製造事業においては、引き続き既存顧客からの受注および新規顧客開

拓を推進し下期以降の売上につなげるための活動を行ってまいりました。前年度の下期以降、主要顧客の新車開発が再開、その後も良好な事業環境を維持しており、金型の需要も好調に推移、これらの結果、前年同四半期との比較では大幅な増収増益となりました。

2019年下期の動向は？

下期偏重で推移の見込み

補助金関連案件の受注活動に注力

CAD/CAMシステム等事業においては、本年度も前年同様、収益は下期偏重となる見込みです。政府補助金の採択結果待ちであった案件を確実に収益につなげるとともに、「AIQ」をはじめとする新規製品の研究開発および販売体制の強化を図ります。また金型製造事業においては貿易摩擦、中東情勢等により先行き不透明な状況が継続するものと思われませんが、引き続き積極的な受注活動を展開していきます。

なお通期連結業績予想については売上高42億94百万円、営業利益3億4百万円から変更はなく、また配当予想につきましても当初予想の期末配当10円からの変更はありません。

今後も世界のモノづくり分野において、「グローバル・ニッチ・トップ」を目指し、顧客満足度向上、ひいては企業価値のさらなる向上を目指してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、引き続き当社へのご理解、ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2019年9月吉日

代表取締役社長
塩田 聖一



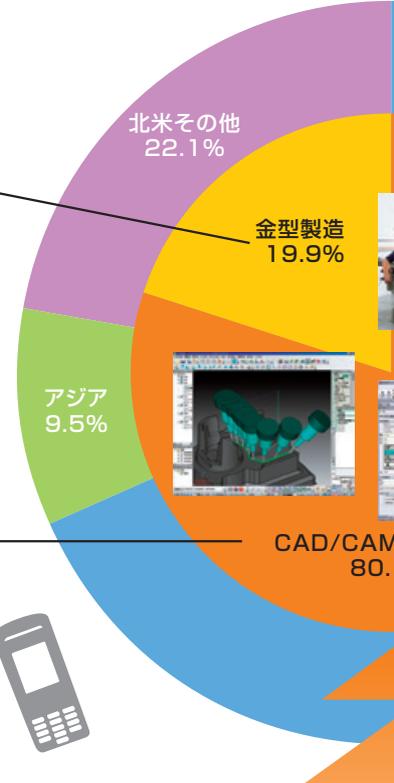
金型製造事業

北米を拠点に、自動車部品等の元となる金型製造の請負、および関連設備の販売・輸出入を行います。



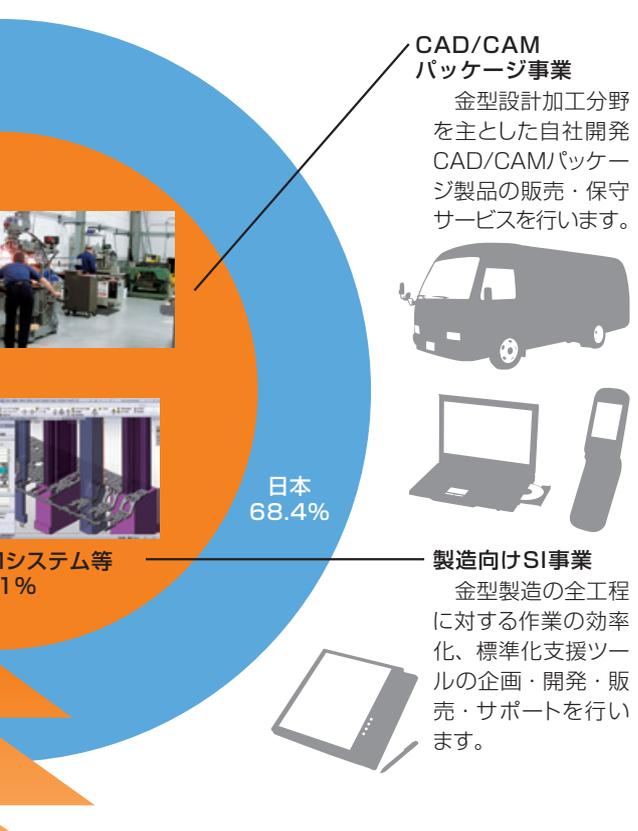
OEM事業

金型関連市場、隣接市場等に対し、既存のコア技術を戦略的に提供することで新規ビジネスの創出を図ります。



CAD/CAMシステム





CGSでは既存事業をコアに、「量産市場、金型内製市場、アジアを主としたグローバル展開」「技術の深耕によるIoT分野等への市場拡大」「新規事業の創出」等に取り組み、世界のものづくりに貢献する製品を創出しております。

「CAM-TOOL」最新バージョン「V15.1」リリース

2019年4月、金型向けCAMソフトウェア「CAM-TOOL」の新版「V15.1」をリリースしました。本バージョンでは、「同時5軸データの自動変換機能」にて干渉しない固定傾斜角度を自動算出し、「非効率な干渉回避」や「干渉による警告終了」を大幅に低減する5軸変換アルゴリズムを開発。干渉回避の目安となる傾斜角度を指定するだけで、最適化された高精度・高効率な5軸加工データを作成することが可能となりました。

「EXCESS-HYBRID II」最新バージョン「V4.1」リリース

2019年2月、金型向け2次元・3次元融合型のCAD/CAMソフトウェア「EXCESS-HYBRID II」の新版「V4.1」をリリースいたしました。本バージョンでは、CAD画面上で縮尺や用紙サイズの異なる2D図面や3Dモデルを同一ドキュメント内に任意に作成可能な「フレーム機能」を標準搭載、複数の図面で構成されるCADデータの表示、編集、印刷など、一斉に行う操作の作業効率が大幅に向上し、より自由度の高い設計環境を構築することが可能となりました。

CAM-TOOLを米シーメンスPLMソフトウェア社の3次元CAD/CAM「NX」に搭載

CAM-TOOL for NX

当社は米シーメンスPLMソフトウェア社 (Siemens Product Lifecycle Management Software Inc.) とパートナープログラム (Siemens PLM Solutions S&T Partner Program) で合意、同社製の3次元CAD/CAMソフトウェア「NX」に当社製の金型向けCAMソフトウェア「CAM-TOOL」を搭載し、「CAM-TOOL for NX」として販売開始することを決定しました。

NXは、自動車メーカーやサプライヤーの基幹CADシステムとして広く採用されており、上流の製品設計から金型設計に至るまでその利用範囲は広がっております。これらメーカーの金型内製部門における設計環境の変化を背景に、共通のPLM (製品ライフサイクル管理) の環境下で動作する高度な金型向けCAMソフトウェアの要求が高まっております。CAM-TOOLを組み込むことで「NX CAM」の機能が補完され、ユーザーは製品設計から金型加工まで統合された最適なシステム環境を構築することが可能となります。初版では3軸仕様までを搭載し、日本国内で先行して年内に販売を開始する予定です。さらに「アジア圏での拡販」や「5軸仕様への拡張」も視野に準備を進めてまいります。

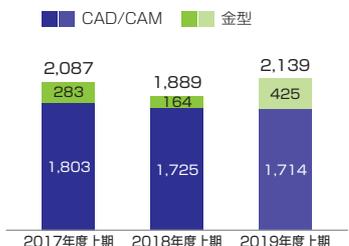
当社はSiemens Product Lifecycle Management Software Inc.のソフトウェア&テクノロジー・パートナーです。
 NXは米国およびその他の国におけるSiemens Product Lifecycle Management Software Inc.またはその子会社の商標または登録商標です。

システム等事業 主力製品

EXCESS-HYBRID II
 CAD/CAMシステム

AIQ
 金型・部品製造業に特化した当社独自のIoTソリューション

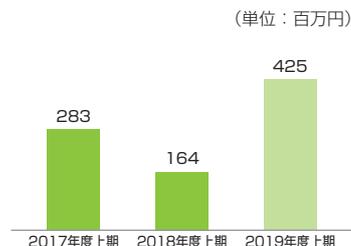
売上高 (単位：百万円)



CAD/CAMシステム等事業売上高 (単位：百万円)



金型製造事業売上高 (単位：百万円)

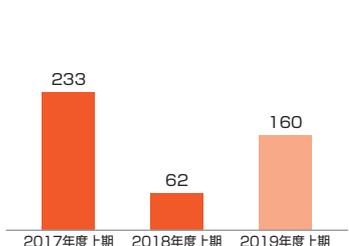


売上面

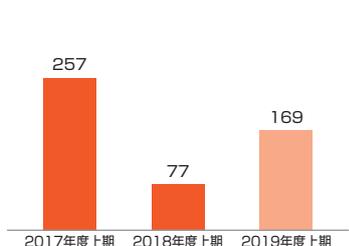
CAD/CAMシステム等事業においては、前年同四半期比で売上高はほぼ横ばいとなりました。国内製品販売は政府補助金採択のタイミングおよび米中貿易摩擦による中国経済の減速に伴う設備投資抑制により低調に推移しました。海外では貿易摩擦の影響を受けた中国・韓国で厳しい状況にあった一方、インドネシア・タイ等の地域では堅調に推移しました。また保守収益については国内・海外ともに高い保守更新率を維持し、堅調に推移しました。

金型製造事業においては、前年度の下期以降、主要顧客の新車開発が再開したことに伴い、金型製造事業需要も好調に推移、前年同四半期との比較で大幅な増収となりました。

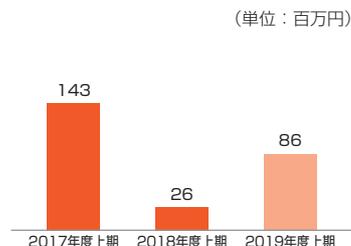
営業利益 (単位：百万円)



経常利益 (単位：百万円)



親会社株主に帰属する四半期純利益 (単位：百万円)



利益面

金型製造事業の大幅な増収およびCAD/CAMシステム等事業の売上原価に掛かる開発コストの減少等により、前年同四半期比+155.0%と大幅に改善しました。

通期の見通し (単位：百万円)

	2018年度通期	2019年度通期予想	増減額	増減率
売上高	4,066	4,294	+227	+5.6%
営業利益	230	304	+74	+32.4%
経常利益	252	328	+76	+30.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	121	185	+64	+53.4%

通期の見通しについては期初予想から変更ありません。CAD/CAMシステム等事業では下期以降、政府補助金採択案件の販売に注力するとともに、現在育成中の新規事業の推進を図ってまいります。

役員状況 (2019年6月30日現在)

代表取締役会長	山口 修司
代表取締役社長	塩田 聖一
常務取締役	伴野 裕之
取締役	寺崎 和彦
取締役	春日 勝人
取締役	小島 利幸
常勤監査等委員	佐藤 淳
監査等委員(社外取締役)	山田 英雄
監査等委員(社外取締役)	橋本 光

株式情報 (2019年6月30日現在)

株式の状況

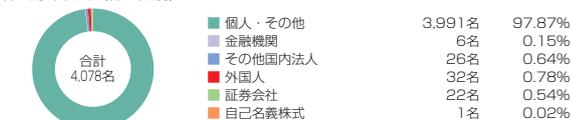
発行可能株式総数	48,000,000株
発行済株式の総数	9,801,549株
株主数	4,078名

大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社山口クリエイト	1,672,190	17.06
株式会社光通信	485,400	4.95
日本生命保険相互会社	459,740	4.69
山口 修司	293,169	2.99
リズム時計工業株式会社	210,100	2.14
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140040	189,500	1.93
C&Gシステムズ従業員持株会	164,969	1.68
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140042	114,900	1.17
稲田 清春	111,600	1.14
西中 潤次	103,200	1.05

株式分布状況

株式分布状況(株主数別)



株式分布状況(株式数別)

